《水溜りが出来ない、歩きやすい快適な歩行空間を確保》

平成17年度の代表的な取組みとその成果

Plan 透水性舗装の歩道整備を継続し、歩きやすい歩行空間を確保します

Do ■透水性舗装により、水溜りが出来ない歩道を確保

〈(主)仙台北環状線(泉区八乙女)〉

▲凸凹があり、水溜りが発生

▲透水性舗装の実施、歩道幅の拡幅

周辺の職場に通勤する方の声

整備前
◎水溜りで歩きにくかった
◎冬に水溜りが凍結して、滑りやすかった
◎凹凸があり歩きにくかった

整備後
◎歩道幅が広くなり、自転車とのすれ違いも容易になった
◎水溜りはなくなり、歩きやすくなった
◎平坦になり、安全に歩けるようになった

歩行者の方々は快適になったと回答

平成17年度評価

Check ■安全快適な歩行空間整備は不十分

快適な歩行空間の整備を進めていますが、依然として「安全快適な歩行空間整備の促進」に対しては不十分とする意見が多く、早期の改良・改善が求められています。

「不十分」とする意見の割合が高い11施策テーマの上位3位

1位	渋滞対策の推進	36.6%
2位	安全快適な歩行空間整備の推進	30.5%
3位	交通環境改善の推進	28.0%

◎平成17年度「宮城の道の通信簿」アンケート結果より

Action 引き続き快適な歩行空間の確保に向けて必要な対策を検討します

平成18年度の代表的な取組み

Plan

水溜りが出来ない歩道を整備

透水性舗装の整備を進め、水溜りが出来ない歩行空間を目指します。

〈(都)北四番丁岩切線(宮城野区幸町)〉

歩道を広げて歩きやすく

〈国道108号「古川地区」〉

〈その他の主な対策箇所〉
◎(主)泉塩釜線「市名坂」透水性舗装
◎(一)荒井荒町線「蒲町」歩道拡幅

採点をお願いします！

◆上記のような歩行環境の改善整備への採点

A 十分整備されている — B — C どちらともいえない — D — E もっと進めるべきだ

A～Eを選択してください → はがき問4 ⑦欄へ

採点

《ボランティア活動を支援し、道路を美しく》

平成17年度の代表的な取組みとその成果

Plan 沿道住民の方々がより親しみを持ち、道路管理に参加できる環境づくりを進めます

Do ■ボランティア活動を支援

国土交通省、宮城県、仙台市では、ボランティア団体を募集し、活動の支援を行っています。

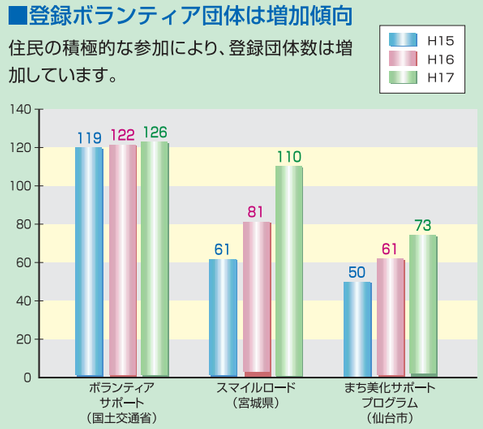
▲ロゴマーク入りのユニホームを着て清掃活動中

鳴子
学校挙げて国道清掃
川渡小 長年の活動で表彰
▲H17.9.27大崎タイムズ

〈活動支援内容の例〉
★清掃用具、ごみ袋等の提供
★花・低木の苗
★ボランティア活動保険の加入
★活動をPRする看板の設置 等
(看板の設置は道路利用者のマナー向上も図られる)

■登録ボランティア団体は増加傾向

住民の積極的な参加により、登録団体数は増加しています。



▲登録団体数

平成17年度評価

Check 美化活動の輪が広がっていることから、継続的な支援と更なる登録団体の拡充が必要です。

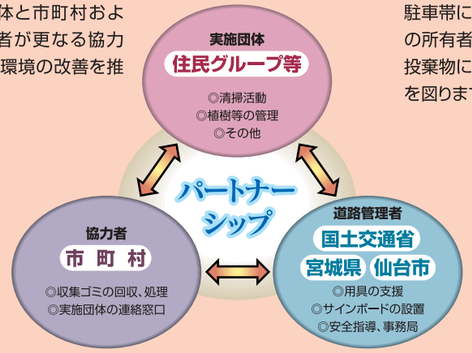
Action ボランティアの支援内容や活動状況を検証し、支援内容の拡大等を検討します

平成18年度の代表的な取組み

Plan

ボランティア活動の更なる拡大

道路愛護団体と市町村および道路管理者が更なる協力を進め、道路環境の改善を推進します。



ゴミの不法投棄を防止

駐車帯に粗大ゴミや家庭ゴミの不法投棄が発生しており、土地の所有者や地域の方々が迷惑しています。
投棄物に注意の張り紙をしたり看板を設置し、不法投棄の防止を図ります。

▲国道45号脇の駐車帯に捨てられた粗大ゴミ

採点をお願いします！

◆上記のようなボランティア活動による道路環境を改善する施策への採点

A 十分活動している — B — C どちらともいえない — D — E もっと進めるべきだ

A～Eを選択してください → はがき問4 ⑧欄へ

採点